

横井政人先生を偲ぶ会報告

國 分 尚

平成26年2月1日、去る平成25年9月21日に逝去された花葉会顧問・千葉大学名誉教授の横井政人先生を偲ぶ会が都内港区の芝パークホテル「桜の間」で開催されました。ご本人のご遺志によって葬儀がご親族のみで行われたこともあり、横井先生とご縁のあった方々にご参集いただき、先生のご功績とお人柄を語り合う良い機会となりました。

この偲ぶ会は先生が深く関わられた（一社）日本植木協会の新樹種部会と花葉会の有志が発起人となり、安藤敏夫花葉会名誉会長を代表として平成25年10月から準備が始められました。花葉会会員で横井先生の指導を直接受けた最後の世代である平成13年以前の卒業生、新樹種部会の会員、その他生前に関係されていた業界団体等に案内を送り、122名（うち当日欠席22名）の参加者がありました。内訳は花葉会88名、新樹種部会17名、その他7名でした。

当日は会場に横井先生のご遺族7名をお迎えし、先生の写真パネル3枚を花とともに飾った祭壇に参加者が白いバラを献花することから始まりました。花葉会幹事の山下容子氏の司会・進行のもと、発起人代表として安藤名誉会長、新樹種部会部会長 森川雅広氏の挨拶、新樹種部会 三好武二氏のご発声による献杯の後しばらく歓談を行い、知人、同期生や久しぶりに会う参加者の間で横井先生の生前を偲ぶ会話がはずみました。

続いて國分よりスライドを使った横井先生の業績紹介があり、柴道昭氏による横井先生が世界に贈った植物の解説、同級生代表として鈴木司氏、教え子代表として御巫由紀氏より感謝の言葉をいただきました。

それぞれのお話で横井先生について初めて伺うことも多く、自分の知っていた横井先生は先生のごく一部だったことを再認識しました。さらに、会食中には横井先生と長きに渡って共同研究を行われた明治学院大学名誉教授 齋藤規夫先生から横井先生の生前のエピソードがユーモアを交えて紹介されるなど、横井先生のお人柄を反映したなごやかな会となりました。また、海外の植物関係者からもメッセージをいただき、翻訳したものが会食中に披露されるなど、先生の交流の広さを改めて知る良い機会となりました。

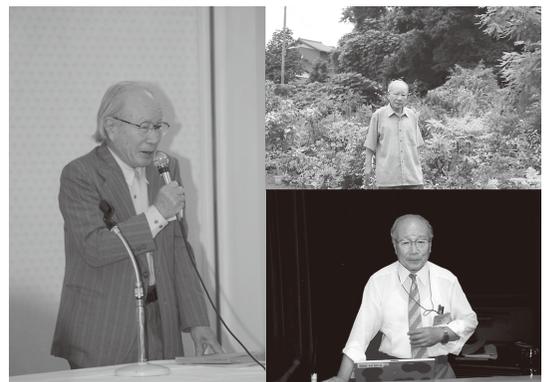
ご遺族のメッセージとして横井先生のお孫さんから先生への手紙が読まれ、我々が普段知ることのなかった、ご家族の一員としての先生の姿を窺い知ることができました。それと同様に、ご遺族にとっては、先生の研究者としての顔を初めて知ることになったともお聞きしました。

最後に横井先生の奥様のやす子様よりご挨拶をいただき、安藤名誉会長よりやす子様へ記念品の贈呈、花葉会幹事長 長岡求氏の閉会の言葉で偲ぶ会は終了しました。参加者には記念品として横井先生の業績集、カエデの絵はがき・しおりなどが用意されました。

この絵はがきとしおりに使った写真は横井先生とカエデを通して親交があった奈良カエデの郷「ひらら」の矢野正善氏よりご提供いただいたものです。

横井先生が亡くなったことがなかなか実感できないまま半年近くを過ごし、偲ぶ会を迎えましたが、会場に飾られた先生の写真のせいなのか、久しぶりにあう知人の懐かしい顔のせいなのか、横井先生がまだそこにいて下さるような感覚をもったのは私だけだったのでしょうか。先生を亡くしたことは我々にとって大きな痛手ですが、先生を通じて知り合った人たちと会い、改めて園芸の世界のつながりを実感できた会になったと思います。

最後になりましたが、この会を行うにあたり、多大なご協力をいただきました皆様方にこの場を借りまして感謝の意を表します。



偲ぶ会会場に飾られた写真